

参考資料（第4章で取り上げた観光地など）

観光地

豪商のまち松阪 観光交流センター



松阪の歴史・文化、食などの情報を魅力たっぷりに発信する、松阪まち歩きの出発点。1階では、お土産購入や観光情報収集、2階では、松阪の歴史を展示やシアターで学べます。

松坂城跡



誇らしげにそびえ立つ石垣は、松阪のシンボリック的存在。桜や藤、銀杏が石垣を彩り、四季を通じて市民に親しまれています。城跡からは城下町の面影を残すまち並みを一望できます。（国指定史跡）（日本100名城®）

御城番屋敷



江戸末期に紀州藩士が松坂城警護のため移り住んだ武家屋敷。このような長屋の組屋敷は全国でも大変珍しく、今も人々の暮らしが営まれています。西棟北端の一軒は内部を公開しています。（国指定重要文化財）

旧長谷川治郎兵衛家



魚町通りにあるこの邸宅は、江戸時代の木綿問屋「丹波屋」で知られる長谷川家の本宅。格子、霧よけ、5つの蔵、うだつの上がった屋根など当時の松阪商人の隆盛ぶりがうかがえます。（国指定重要文化財）（県指定史跡及び名勝）

松浦武四郎記念館



「北海道の名付け親」松浦武四郎にまつわる、重要文化財に指定された1,505点の資料を中心に、充実した映像コーナーや武四郎クイズなどを紹介しています。記念館から徒歩約7分のところにある「松浦武四郎誕生地」は市指定史跡です。

宝塚古墳



宝塚1号墳と宝塚2号墳からなる古墳公園。古代の歴史や文化に触れ、学び、歴史的文化環境の中で豊かな時を過ごすことができます。頂上からは、松坂城跡、市街地、伊勢湾や堀坂山の山並みなどが見渡せます。（国指定史跡）

天白遺跡



中村川左岸の河岸段丘上に立地し、縄文時代後期中葉から晩期初頭にかけての遺構・遺物が大量に確認されました。川原石で構築された配石遺構群は西日本で最大規模。土偶や石棒など祭祀関係の遺物の大量出土も注目されています。（国指定史跡）

松阪市総合運動公園 スケートパーク



国際大会も開催できる構成の競技エリア、深さ最大2.3mのプールエリア、初心者でも楽しめるローカルエリアの3つのエリアでできている日本最大規模のスケートパークです。

本居宣長記念館



「古事記伝」で有名な国学者・本居宣長の自筆稿本や遺愛の品約16,000点を収蔵。その隣は宣長が12歳から亡くなるまで暮らした旧宅「鈴屋」（国指定特別史跡）があり、偉大な国学者の当時の生活が偲べれます。

松阪市立歴史民俗資料館 (2階 小津安二郎松阪記念館)



歴史を感じるこの資料館は、明治44年に建てられた図書館を改装しました。館内では松阪商人や松坂城跡、昔の暮らしに関する資料に加え、映画監督・小津安二郎の関係資料が展示されています。（国登録有形文化財）

偉人

本居宣長



鈴の音と山桜をこよなく愛でた国学者。学問を好み、医師となり日本の古典の研究を行い、賀茂真淵との出会いを機に、35年を費やして「古事記伝」を執筆しました。

蒲生氏郷



織田信長に才能を認められ、信長の娘・冬姫を妻とし、後、豊臣秀吉より12万石を与えられた戦国時代の武将。天正16年（1588）松坂城を築きました。商業による繁栄を目指した町づくりは後の商都まつさかの礎となりました。

三井高利



延宝元年（1673）「越後屋」を開店。息子たちとともに「店先売」や「現金掛け値なし」などの画期的な商法を行い、日本一の大商人と称されました。のちの三井グループの基礎を築きます。本町にある三井家発祥地ではその歴史を偲ばせています。

小津安二郎



1913年から10年間松阪で過ごし、愛宕町に当時あった「神楽座」で映画を観たことなどがその後の監督人生に影響を与えました。「東京物語」など映画史上にさん然と輝く名作を残しています。

松浦武四郎



幕末から明治維新を生き、北方探検家としてだけでなく、作家・地理学者・画家・博物学者など、幅広い分野で活躍し、多くの志士たちと交流をもちました。明治維新にアイヌの人々の文化を尊重し、北海道の道名、国名（支庁名）、郡名の選定に尽力しました。

特産品

松阪牛



「肉の芸術品」として世界から称賛される松阪のS級ブランド。松阪牛の中でも特に、兵庫県産の子牛を、松阪牛生産地域で900日以上肥育されたものを「特産松阪牛」と言います。

松阪豚



柔らかく、そして弾力のある赤身と、人の体温で溶けだすつきたてのお餅のような真っ白で良質な脂肪が特徴です。

松阪鶏焼き肉



味噌ダレを絡めた鶏肉をあみで焼いて食べます。松阪市を代表するソウルフードです。

まつり

氏郷まつり



商都まつさかの礎を築いた蒲生氏郷公を偲んで開催します。蒲生氏郷公を中心とした「武者行列」は、氏郷の奥方の冬姫、甲冑に身を包んだ武士や鉄砲隊など、総勢約200名の大行列が町を練り歩き大迫力です。

松阪祇園まつり



宵宮（土曜日）の午後、三社みこしがくりだし、町を勇壮に練り歩きます。夜店も数多く出店。日曜日は「松阪しょんがい音頭と踊り」「松阪しょんがいソーラン」「松阪鈴おどり」で盛り上がります。

初午まつり



春を呼ぶ行事として厄年の男女や一般の参詣客で町中が賑わいます。参道や境内には露店が立ち並び、縁起玩具の猿はじきやねじりおこしが販売され、一年の無事を祈ります。初午大祭本日に「厄まいる宝恵駕籠行列」が催されます。

松阪牛まつり



匠が手塩にかけた特産松阪牛50頭から、その年の松阪牛の女王を決定します。他にも、七輪を使った焼肉コーナーをはじめ、松阪牛生産地域の特産品が大集合します。

WEB

みえ松阪マラソン

<https://mie-matsusaka-marathon.jp/>



ワクワク松阪

<https://matsusaka-info.jp/>



松阪市観光情報officialアカウント

@visit_matsusaka

